



TIAニュース

やあ!

1997
SEPTEMBER
No.51

9



Tenkaichi Kampaku Kaminoshishimai

One of the most important performing arts in Kaminokawa-machi is "Tenkaichi Kampaku Kaminoshishimai". This art refers to the legend of a great commander, Toshihito Fujiwara, who cracked down on thieves during the Heian Era.

When Fujiwara was heading back to the capital, after governing this area, he suddenly became ill and died. Due to the bad weather, people could not hold a funeral for this famous

ruler. For this reason, three retainers wore masks resembling the heads of giraffes, "ongami shishi" (each had meaning: heaven, earth and human) and danced with it. Miraculously, the sky cleared up enabling them to hold a funeral for their great leader.

These activities are the origin of "Tenkaichi Kampaku Kaminoshishimai" and people of this area continue to perform this folk art in remembrance of this great commander.

For more details, contact Kawachimachi Social Education Division at (028) 674-2233

市町村文化財紹介
上河内町

天下一関白神獅子舞

上河内町を代表する郷土芸能である「天下一関白神獅子舞」は、平安時代、この地に出没していた盗賊を平定した名将・藤原利仁の伝説に由来する。

都へ帰ろうとした矢先に病に倒れ、急逝した藤原利仁の葬式が悪天候のためにできなくなったとき、天・地・人の3体の麒麟の頭をかたどった「御神獅子」を3人の家臣に被らせて舞を舞ったところ、たちまち雲が消えて晴天になり、無事に葬式を済ませることができた。

このドラマを獅子舞として演じたのが関白神獅子舞の起源であり、藤原利仁の功をいつまでも忘ることのないようにとの願いが込められ、代々伝授されている。

(上河内町社会教育課☎028-674-2233)

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介
シリーズ NO. 7

ジンバース

TIA
INFORMATION

国際交流相談ガイド発刊
外国人のための栃木県地図
とちぎインターナショナルフェスティバル'97開催

- ◆ J E T コ ー ナ ー 外国人指導助手 スー・ウィッペルさん
- ◆ ようこそとちぎへ 国際交流員 レティシア・パバストラティデスさん
- ◆ こ な な 店 あ な な 店 イタリア料理 ラ・バデラ
- ◆ 国際交流団体紹介 エクパットグループ・栃木
- ◆ ト ピ ッ ク ス ヴォークリューズ県ホストファミリー来県
浙江省への栃木県友好交流員紹介

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia>

JETコーナー

外国語指導助手
スー・ウィッペルさん
(オーストラリア出身)



私は、スー・ウィッペル。外国語指導助手として2年目を迎えるました。栃木県南西部の田沼町在住ですが、オーストラリアのブリスベン出身です。田沼町の4代目の外国語指導助手として、この地域の中学校2校と小学校11校で指導しています。私の第2の故郷である田沼は、人口約3万人程で夏蒸し暑く、冬は底冷えのする寒さで、農村地帯と工業地帯から形成されています。観光の見どころもなく、東京行の車窓から楽しめる6月の螢の光以外にはナイトライフの楽しみもありません。関東平野の境界にあり、山と丘が交互に続くこの町には、用が無い限り足をのばす人もいません。また、葛生町へ

のトラックの通り路となっているため、日々埃がたちこめています。こうした荒々しい現状のなかでも、自然の偉大な力により雨が地を洗い美を引き出します。登校中に見られるコスモスの花、冬の雪の神秘さ、(スーパー)とりせんで私に付いて来るはにかんだ笑顔を浮かべた子供達は心を潤してくれます。この町に限らず町の真価は、町そのものではなく、そこにいる住民で決まります。そういう意味ではこの町は最高であり、私の同僚、生徒、友人はとても素晴らしい人達です。私をここにもう1年留めた理由はこの町の人々の温かさなのです。さもなければ、日本の寒い冬に2度も我が身をさらそうとは思わないはずです。

My name is Sue Wippell and I am now a second year JET. I am originally from Brisbane in Australia, but now I live in Tanuma-machi, in the south-west of Tochigi-ken. I am the fourth junior high school ALT in Tanuma and I work at the local JH schools and visit the eleven elementary schools in the area. To many people my adopted hometown would not be very interesting. Tanuma is hot and humid in summer, cold and windy in winter. It is partly rural and partly industrial, with a population of around 30000. There is not much to recommend it to visitors as a "must see". It is devoid of popular nightlife, except

for the fireflies in June, one of thousands of semi-rural small-towns dotting Japan's countryside, flitting past the train window on the way to Tokyo. Situated at the very edge of the Kanto Plain it is rimmed on three sides by hills that gradually become mountains, which will become hill again as they are deforested and quarried away. Tanuma is not a place you would stop to look at unless you had to.

But I am constantly aware of my good fortune in living here. In addition to the thousands of dump trucks that travel through town on their way to the cement factories in Kuzuu, and the single lanes of disintegrating bitumen or compacted dust that pass for roads, or the poor drainage that becomes apparent with each summer storm, there are touches of beauty that soften the town's industrial edge: fields of irises in early summer, swathes of cosmos along the verges as I walk to school, snowfall in winter rare enough to remain a novelty, children following me with shy smiles in Torisen.

The true measure of the worth of this town, as anywhere, is not in appearances but in its people. The people I work with, the students I (attempt to) teach, and the friends I have made are wonderful. The Japanese reputation for kindness is well founded if Tanumanians are its representatives. Believe me, I wouldn't suffer through a second Japanese winter otherwise.



▲左から横田さん、三枝さん、岡田さん

今回、主婦の立場から中国を見たいと思い参加した横田さんは、昨年から小山市国際交流協会主催の中国語講座で現在も勉強中で、今回応募したきっかけは、「大地の子」という本を読んで感銘を受けたからだそうだ。今回、中国へ行って気功を学び、彼らの習慣や文化を肌で感じ取りたいと意欲満々だ。

また、唯一の男性の三枝さんは、大学時代中国語を4年間専攻し、以前、20日間個人で中国を旅行したという。現在は佐野市役所に勤務し、今回は佐野市と友好交流を行っている衢州市との架け橋的役割を果たしたいそうだ。空いた時間を利用して中国国内をあちこち見て回りたいとのこと。

本年度の3名は、9月10日に日本を離れ、来年2月の初めまで浙江大学で、中国語を中心に各種の研修をする。

トピックス TOPICS

フランス・ヴォークリューズ県から3組のご夫婦が来県

南仏・ヴォークリューズ県の「プロヴァンス・ジャポン協会」のメンバー6名が来県した。同協会は、栃木県が派遣している海外研修団員のホームステイを8年前から引き受けている。栃木県は4年前から同協会の会員を、栃木県と日本の文化を知つもらうために招聘している。

知事表敬訪問、県内施設視察や東京視察を終えてから、海外研修団OG・OBの代



▲如来寺でお茶を体験

表が組織する「受け入れ実行委員会」が、ホームステイ、日光視察、送別会等を実施した。メインプログラムのホームステイでは以前にこの6名にお世話になった海外研修団OG・OBが、今度は自分の家で彼らをもてなし友情を深めた。また日光視察の帰りには、今市市の如来寺で、琴とお茶の日本文化を体験してもらった。

そして帰国前夜の送別会には、100名以上が集まり、昨年ヴォ県を訪れた「青年海外研修団」のメンバーが人形劇を披露したりダンスをして会場を盛り上げた。ヴォ県の6名はたくさんの思い出を胸に帰国した。

浙江省へ出発する 栃木県の友好交流員

栃木県が毎年派遣を行っている「浙江省友好交流員」が決定した。本年度は岡田みほさん、横田由美子さん、三枝竜哉さんの3名。岡田さんは、以前総務庁主催の洋上セミナーや横浜市の友好の船で中国に行つた経験があり、今回は中国の人々と共に生活いろいろ知識を増やし、中国語を学ぶ以外、中国楽器の胡弓も習いたいといふ。

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

栃木県国際交流員

レティシア・パパストラティデスさん
(フランス出身・25歳)



栃木県国際交流員として3年間活躍したジル・カサラさんの後任として来県した、レティシア・パパストラティデスさんにインタビュー。

* * *

——初めて。ようこそ栃木県へいらっしゃいました。早速ですが、まず苗字のパパストラティデスというのは、ちょっと珍しいような気がしますが…。

レティシア 父方の祖父母がトルコ在住のギリシャ人でした。ギリシャ系の名前なんです。父はフランス人と結婚しました。

——なるほど。ギリシャ人の血とフランス人の血をひいているわけですね。フランスではどこに住んでいますか。

レティシア リヨンの北30kmのヴィルフ

ランシュという町です。ワインで有名なボジョレ地方です。生まれてからずっとそこに住んでいます。

——どうして日本語を勉強しようと思ったのですか。

レティシア 私はリヨン第2大学で経済の勉強をしていました。でも語学が好きで、11歳頃からドイツ語を、13歳からは英語を学びはじめ、ドイツやオーストリア、イギリスやアメリカへ行って実際に生の言葉に触れる機会を何度か得ました。その後、東洋の言葉も勉強したくなって、中国語か日本語のどちらにしようか迷いましたが、結局日本語に決めました

——以前に一度日本に来たことがあるそうですが。

レティシア 去年、大阪の松下電器で6か月間研修し、販売や顧客管理、マーケティングなどを学びました。仕事以外に、日本文化もいろいろ学びました。それにホームステイだったんですよ。

——6か月のあいだに日本国内を旅行しましたか。

レティシア 京都、奈良、鳥取、東京、名古屋、広島、福岡に行きました。残念ですが栃木には…。

——それはホント残念ですね。でもこれから沢山観ることができますから。それでフランスに戻ってからは何を。

レティシア 大学の勉強を終えて卒業し、仕事を探していました。友達はフランス国

内の企業に入ったりしましたが、私はフランスにいるよりも外国に行きたかったので、外国に行ける仕事を探していました。

——そこでJETプログラム(外国人指導助手や国際交流員を招聘する事業)に参加しようと思ったのですね。

レティシア 大阪にいたとき、外国語指導助手のオーストラリア人から既にこのプログラムについて聞いていたので、やってみようと思いました。今年の3月に面接があって、4月に採用が決定しました。

——国際交流員としてどんな仕事をするのですか。

レティシア 翻訳や通訳がメインだと思います。日本語からフランス語の通訳はなんとかなりますが、その逆はこれから経験しながら勉強していきたいと思います。

——「習うより慣れろ」ですね。ところで、趣味はなんですか。

レティシア 私、乗馬が大好きなんです。日本でできるかどうかは分かりませんが。そして外国語。芸術的な写真撮影。良いカメラを買いたいですね。また、日本の武道が好きなので、この機会を利用して挑戦してみたいです。

——すごく活発ですね。では最後に、将来の夢を聞かせてください。

レティシア この国際交流員の仕事が終わっても、もう少し日本にいて他の様々なことを学びたいです。その後は大きな企業に入って、どこか違う外国で働きたいです。

TIA INFORMATION

国際交流相談ガイド発刊

TIAでは、国際交流相談窓口を設けて県民や在日外国人からの様々な相談に応じているが、その中で、よく相談される内容や、知っていて得をする内容を部門別にまとめた「国際交流相談ガイド」を作成した。内容は次のとおり。

(1)「海外滞在」…外国留学、ホームステイ、ワーキングホリデー、海外ボランティアについて等。

(2)「日本滞在」…在留資格の申請や変更、身元保証人、再入国許可、日本で外国人から生まれた子供の手続き、日本に永住するための申請、日本人と結婚すれば無条件で滞在できるのか、どのような手続きで退去

を強制されるのが等。

(3)「国際結婚・親子関係」…国際結婚と国籍・戸籍・住民票、日本に住む外国人同士の結婚、日本で外国人から子供が生まれたとき、養子縁組と在留資格、外国人の夫と日本人の妻の離婚、離婚後の在留資格等

(4)「外国人の労働」…労働条件の明示、賃金の未払い、休日と有給休暇、解雇と社宅の明け渡し、労災保険のしくみ、社会保険・年金の脱退一時金等

(5)「外国人が日本で勉強するためには」…就学手続き(小中学校)、外国人が日本に来て日本語の勉強をするには、外国人留学生の奨学金、日本語能力試験等

(6)「医療福祉」…国民健康保険、国民年金保険、母子健康手帳、予防接種、精神保険相談・医療相談窓口等

(7)「税金」…所得税、住民税、二重課税回避(ブラジルの場合)等



(8)「その他」…外国人が日本で事業を起こすには、外国人の住宅問題、運転免許の書き換え、交通事故等

この「国際交流相談ガイド」をご希望の方は、TIA(☎028-621-0777)までご連絡をどうぞ。

TIA事務所が移転

TIAは、今年の11月4日に事務所を下記の住所に移転する。新しい事務所(とちぎ国際交流センター(仮称))は、インターネット・ビデオブース、研修室、図書閲覧室、多目的ホール、企画展示室、相談室、調理室等を備えている。詳しい内容については次号で紹介する。

▶新住所=〒320-0001
都宮市本町9-14
(栃木県総合文化センター西側)



ジンバブエ ZIMBABWE

アフリカ南部のジンバブエは日本と殆ど同面積の内陸国で、国土の4分の1が海拔1,000メートル以上の高地である。国名のジンバブエは「石造りの家」の意味。

19世紀後半から、英国人等白人の入植が進み、鉱業、プランテーション農業、製造業が発展していった。1980年に黒人多数支配の政権が設立し英國から独立。以降社会主義路線を続けてきたが、近年資本主義との共存路線に変わってきている。

案内人

高橋鉄一さん (28歳) NTT栃木支店設備部基本設計担当



青年海外協力隊員として既にネパールへ行った職場の先輩の話を聞いて、協力隊参加を決意。1995年4月～1997年4月の2年間、アフリカ・ジンバブエの首都ハラレの郵電公社で電話線路の設計等を担当する。現職参加。NTTからは今まで400名以上の協力隊員が世界中で活躍している。

電話を申し込んでも待たされる

ジンバブエの首都ハラレは標高1,500mあります。私が配属されたのは、PTCという郵便と電信・電話の業務を行う「郵電公社」のケーブル・プランニング・セントラル2ハラレという部門です。セントラル2というのはハラレ内の第2エリアのことです。

私の専門は電話線路です。電話線路というのは局の交換機を出たところから電話機まで、つまり電柱やケーブル等のことで、その設計や積算を主にしています。

協力隊への政府の要請内容は、電話申し込み者に対して、いかに効率よく少ない設備で多くの人に電話を引くか設計してほしいということです。郵電公社に設備のための十分な予算がない、一方電話申し込み者は大変多く、長い間待たされているという状況の中で、私は仕事に取りかからなければなりませんでした。

基本的には、ケーブルを引くエリアを決めて順番にやっていきます。日本では地下に管を通しケーブルをその中に通していくが、ジンバブエではケーブルを直接地中に入れてしまします。コストの関係でこの方法をとっていますが、これだと故障し

たときにその場所を見発見するのが大変なんです。ケーブルも日本のものと構造が違っています。湿気や雨が少ないので水の侵入はありませんが、やはり日本に比べると故障が多いです。

スタッフの仕事ぶりを日本人として見ますと、かなりアバウトですね。期限付きの仕事が期限日までに終わらない。お客様と交渉してなんとか延ばしてもらう。でも一概にスタッフのせいとも言えないのです。人手や物質の不足から遅れてしまうことがあります。ケーブルを引くのにケーブルがない、あつたらあつたで各工事エリア間で取り合いになる、なんてショッちゅうです。

でも仕事を陽気に行い、ミスしたときも(それがかなり大きなものでも)「なんとかなるさ」「気にするな」と言ってくれるおおらかさには感心してしまいます。

郵電公社はステータスが高く、人気があります。技術的なことは入社後ゼロから学びますが、毎年昇進・昇給のための試験があるので、皆必死に技術習得に頑張っています。中にはMBA（経営修士号）を持っているエリートもいます。ジンバブエの企業のなかでも待遇面で恵まれていて、私と同年代の職員の給料が4～5万円で、日本の価値にすると約20～25

万円（約5倍）です。他の職業と比べると高給で、生活するには十分です。

ジンバブエの電話の普及率は約1%、百人に1人の割合です。日本の約47%に比べると随分低いですね。そしてその殆どが都市に集中しています。田舎によっては電気が通っていないので、まずそれからどうにかしないと電話まで届きません。

日本では電話を入れたいとき、よほどの場所ではないかぎり3日以内で電話線を引けますが、ジンバブエでは2～3ヶ月は当たり前、局の設備が整っていない地域では数年待たなくてはなりません。電話加入料が3千円と手軽なので、申し込み者が多くなって当然です。待ちきれない人達の中で裕福な白人やビジネスマンは、携帯電話を買う人がいます。でも加入料が5万円と高いので、皆が買えるわけではありません。

帰国してからも、郵電公社の同僚から電話がかかってくることがあります。皆頑張っているようです。ジンバブエの今後の電話事情ですが、将来、設備投資をしてハード面を整えれば、需要は多いわけですからきっと伸びていく産業になると思います。特に郵電公社が民営化されれば設備投資がもっと大きくなり、多くの人が電話を手にすることができますようになるでしょう。



▲ハラレの町中でマリンバを弾く大道芸人



郵電公社のスタッフと一緒に高橋さん(左から2番目)

ジンバブエ共和国



▶ヘリコプターから迫力あるビクトリア滝を臨む



浸透している白人文化

ジンバブエが英国から独立したのは1980年。アフリカの国々のなかでも遅いほうです。そのせいか、白人（西洋）文化がかなり浸透しています。私企業の殆どが白人による経営です。つまり白人がこの国の経済を握っているわけです。基本的には社会主義をうたっていますが、資本主義化しつつあります。

独立後、白人に対する黒人の多少の反発は残っていますが、大きな問題になるような人種差別はほとんど聞きません。少数派になった白人と政権を握った黒人とが、なんとかうまく共存しています。

さて、次に食文化についてです。主食はトウモロコシの粉で「サザ」と呼ばれます。トマトソースのシチューにこの「サザ」をつけて食べます。この国は内陸国なので海がなく、海の魚は高価です。肉は、牛肉の方が鶏肉より安いので、日本と逆です。西洋料理が広く普及していて、ポルトガル料理店なども結構あります。



▲田舎の典型的な住居「ハット」



▶ジンバブエ風とぶろくを造る



地方に行ったときですが、ドラム缶にトウモロコシと井戸水を入れて造った日本のどぶろくのようなものを見ました。匂いがきつかったので、ちょっと飲めませんでしたね。住まいに関して



△石の遺跡が残るグレートジンバブエ

は、地震がないので、レンガ造りが主流です。田舎では、自分たちで土をこねてレンガを造り、藁などで屋根を覆うスタイルの「ハット」（帽子のような形だから）と呼ばれる家があります。必要に応じて徐々にリフォームできるのが特徴です。

ジンバブエの物価は日本の約5分の1です。タバコが1箱50円。コーラが20円、レストランで食事が100円などです。学校の先生の給料が2~3万、ガードマンは1万円程度なので、一般の人の生活は厳しいようです。

新車は家を建てるより高い場合があり、お金持しか買えません。だからボロボロの車がたくさん街のなかを走っていますよ。

世界的な観光地「ビクトリア滝」

西部国境付近のザンベジ川流域にある「ビクトリア滝」は、首都ハラレから飛行機で1時間の距離です。幅1,700m、落差120mとスケールが大きく、世界3大瀑布の一つとされています。最も有名な観光地で、世界中から観光客

データ



【国旗の意味】

三角形の中はジンバブエの遺跡からとった「ジンバブエの鳥」で国家の統合と栄光のシンボル。緑は農業、黄は富、赤は独立闘争の血、黒は国民、白は平和を表す。

ジンバブエ共和国

- ① 面積 391,000 km²
- ② 人口 1,153万人（95年）
- ③ 首都 ハラレ
- ④ 主要言語 英語、ショナ語、ンデベレ語
- ⑤ 宗教 伝統宗教、キリスト教
- ⑥ 建国 1980年英国から独立
- ⑦ 通貨 ジンバブエ・ドル
- ⑧ 元首 大統領
- ⑨ その他 協力隊員の派遣人数230人
栃木県からは2人



◀カリバ湖周辺のサファリで見たゾウ

国際交流団体紹介

エクパットグループ・栃木

私たちエクパットグループ・栃木は、昨年12月に発足し、「子ども買春」という問題に焦点をあて活動してきました。

「子ども買春」とは、子どもに対して大人たちが性的虐待を加えることを言います。大変悲しい現実ですが、低開発国で貧困にあえぐ子どもたちを、先進諸国の「児童性愛者」と呼ばれる大人たちが札束の力で「買春」しているのです。

こうした現実の中で、子どもの権利を守ろうと世界中のNGOが手を結び、6年前にエクパット（アジア観光における子ども買春根絶）キャンペーンが始まり、現在は子どもボルノの根絶も課題に加えながら第二期目のキャンペーンが行われているところです。

本会では、この世界的なキャンペーンに呼応して、栃木県内における買春観光の根

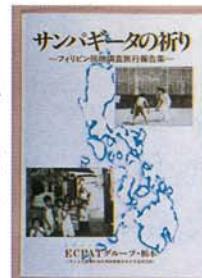
絶に向けた働きかけも検討課題として取り組んでいる他、今年3月に初めて試みた「フィリピン現地調査旅行」でつかんだ体験を生かし、今後の自分たちの糧としながら多様な活動を行っていきたいと考えています。

現地調査旅行では、プレダという子どもたちのための保護施設の主宰者として活動しているシェイ・カレン神父を訪ねた他、スマーキーマウンテンを視察したり、自治大臣兼警察大臣であるロバート・バーバー氏に会い直接話をする幸運にも恵まれました。この経験は私たちにより強く現状の厳しさを教え、「何かをしなければ」という気持ちを一層抱かせました。

私たちは、子どもたちへの虐待が根絶されるよう、その願いのためにこれからも小さな歩みを重ねていきたいと思います。

（事務局：平岡☎/FAX 0289-63-1984）

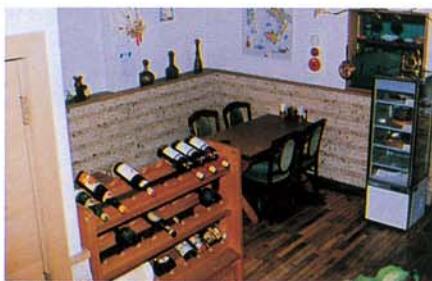
※「子ども買春」について知る手がかりになればという気持ちを込めて「サンパギータの祈り～フィリピン現地調査旅行報告書」を作成しました。額価1,110円（送料込み）。申込みは中里（☎/FAX 028-636-9323）まで。



こんな店 あんな店

イタリア料理 ラ・パデラ

イタリア語で「フライパン」を意味するイタリア料理店「ラ・パデラ」は、開店して10年になる。オーナーの渡辺康夫氏は、今から約24年前、新宿のイタリア料理店のチーフであるイタリア人と知り合い、当時洋食の主流だったフランス料理よりもイタリア料理の方が日本人の口に合うのではないかと考え、イタリア料理を学ぶ決心をす



▲落ち着いた雰囲気の店内

る。横浜のいくつかのイタリア料理店でコックをした後、10年前に宇都宮に戻ってきて自分の店を出した。



タツ渡辺
オーナー
(右)
とス

「料理というものは全てそうだと思いますが、素材の持ち味をいかに上手に出すかということです。ですから素材が良ければ味付けをあっさりすることで、本当の味を引き立たせることができるので」と料理に対する考えを語るオーナー。本場の味を楽しんでもらうためにチーズを輸入したり、手作りフェットチーネ（薄平たいパスタ）でお客の舌を楽しませる。

アラカルトの料理は、前菜、スープ、リゾット、パスタ類、魚・肉類、サラダ、自家製デザートなどから選べる。オーナーのお勧めは、ゴルゴンゾーラチーズのスペゲティー（¥1,000）、ほうれん草のラザニアとサラダ（¥1,200）。コースでは、前菜・好きなパスタ1品・サラダ・自家製デザート・コーヒー又は紅茶が付いた「パスタコース（¥2,600）」

知って得する なんでもQ&A

[旅券の残存有効期限についてパートI]

今回からは渡航時に必要な旅券の残存有効期限についてです。

（渡航先別出国者の多い国順）

アメリカ：帰国日まで有効なもの

イタリア：査証申請の場合⇒その都度確認
無査証入国の場合

⇒入国時3か月以上

イギリス：入国時2か月+滞在日数以上

フランス：査証申請の場合

⇒査証発行時3か月以上

無査証入国の場合

⇒帰国時まで有効なもの

ドイツ：帰国時まで有効なもの

スイス：査証申請の場合

⇒査証の場合入国時6か月以上

次回もこの続きになります。

が人気だそうだ。またランチもあり、日替わりスパゲティー（サラダ・デザート・コーヒー付き¥900）が楽しめる。

「イタリア料理はワインとともに合います。イタリアワインのソアベの白やキャンティーニの赤などで、料理とワインの相性の良さを存分に楽しんでください」

▶営業時間=11:00
～22:00（平日の
15:00～17:00は休
憩、オーダーストップ
21:30）▶定休
日=月曜▶住所・電
話=宇都宮市旭1-5-
1 ☎028-632-8008



TIA Information Corner

★外国人のための栃木県地図発刊



TIAは、外国人に栃木県をより良く理解していただくために、漢字とローマ字を併記した「外国人のための栃木県地図」を作成した。県内の観光レジャー施設、名所・旧跡などをローマ字でも記しているので、漢字が読めない場合の助けとなる。また、首都圏交通ネットワーク一覧表もローマ字で掲載した。外国人でご希望の方にはTIAで無料で配布している。

★A Map of Tochigi for Foreigners

TIA has made a "Map of Tochigi for Foreigners" to help foreigners to get to know Tochigi Prefecture better. The name of the places, tourist facilities, sightseeing spots, and historical sights are labeled in Kanji and Romaji. On the back of the map, there is a train network guide of the Metropolitan area.

If you want this useful map, you can ask for one at TIA. It is available free of charge.

★ MAPA DE TOCHIGI PARA OS ESTRANGEIROS

A TIA confeccionou o mapa de Tochigi romanizado e em "kanji" para integrarem-se

melhor. Contém os pontos turísticos, famosos, históricos e de laser, que ajudarão a encontrar com facilidade. No verso, há um mapa de meios de transportes da área metropolitana. A TIA está oferecendo gratuitamente este mapa aos estrangeiros.

★Mapa de Tochigi para los extranjeros

TIA ha confeccionado un "Mapa de la provincia de Tochigi para los extranjeros" para facilitarles más sobre el entendimiento de la prefectura. Este mapa está escrito en kanji y letras romanas, lo cual ayudará a los extranjeros a localizar instalaciones turísticas y de recreación, y sitios célebres e históricos con mayor facilidad. Al dorso del mapa, se encuentra la tabla de red de comunicaciones de la área metropolitana en letras romanas. TIA está ofreciendo las copias del mapa gratuitamente a los extranjeros que deseen recibirlas.

★为外国人发行的栃木县地图

TIA 为了外国人更了解栃木县，制作了以汉字及罗马字并记的“外国人用栃木县地图”。为了帮助不会读汉字的人，在县内的娱乐设施、名胜古迹等用罗马字标明。另，首都圈交通连接网一览表也用罗马字注明。有需要的外国人，TIA 免费赠送。

های دیدنی و اماکن تاریخی و تفریحاتی های استان را با خط لاتین نوشته است تا کسانی که قادر به حفظ خط کاراچی نمیباشند ممکن شود.

ضناً نقشهٔ ترافیک جاده‌های استان را به خط لاتین نوشته شده تهیه نموده و بعده را گان در اختیار خارجیان قرار میدهد.

TIA日誌

1997年7月1日～1997年8月31日

- | | |
|------|--|
| 7/1 | 浙江省友好会館建設考察団理事長
表敬訪問 |
| 7/5 | 県費留学生及び海外技術研修員の
ための歓迎会（主催：栃木県青年
海外協力隊OB会・栃木県海外移
住家族会／プラザインくろかみ） |
| 7/6 | 国連英検第1次試験（宇都宮大学） |
| 7/7 | 海外技術研修員研修機関配属 |
| 7/10 | とちぎインターナショナルフェステ
ィバル第1回運営委員会（自治会館） |
| 8/2 | 県費留学生・海外技術研修員宮ま
つり参加 |
| 8/4 | 海外技術研修員研修機関配属
日仏青少年短期研修事業第1回実
施委員会（研修室） |
| 8/17 | 国連英検第2次試験（コンセーレ） |
| 8/18 | ヴォーカリューズ県ホストファミ
リー受入れ（～27） |
| 8/28 | とちぎインターナショナルフェステ
ィバル第2回運営委員会（自治会館） |

استار نقشهٔ استان توچی گی برای خارجیان
بنظر آشایی هرچه سیر خارجیان با
استان توچی گی اقدام به چاپ و استار نقشهٔ
استان با خط کاراچی و لاتین نموده است و محل

成田空港へ一直線、高速バス メープル号！ 毎日4往復

太田・足利・佐野 ←→ 成田空港
3時間10分

●大人4,300円。小児2,150円。(15名様以上団体割引)

●メープル号予約センター 太田 ☎0276-48-6286

成田空港ゆき			
太田駅南口発	足利市駅発	佐野発	成田空港着
4:40	5:00	5:35	7:50
5:40	6:00	6:35	8:50
11:40	12:00	12:35	14:50
13:40	14:00	14:35	16:50



佐野 足利 太田ゆき			
成田空港発 (東京マリーナ)	佐野着	足利市駅着	太田駅南口着
8:40	10:55	11:30	11:50
13:50	16:05	16:40	17:00
16:40	18:55	19:30	19:50
19:10	21:25	22:00	22:20

印刷からビデオ制作まで



必要なときに必要なだけ オンデマンド印刷機

インターネットのホームページ制作は当社へ！
株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷
〒321宇都宮市平出町4287-7
TEL 028-662-2511(代) FAX 028-662-4278
URL: <http://www.pto.co.jp> E-Mail: pto2@alpha-web.or.jp

TIA Information Corner

★とちぎインターナショナルフェスティバル'97

外国人と県民が集う祭典「とちぎインターナショナルフェスティバル'97」が次のとおり開催される。▶日時=1997年9月21日(日) 10:00~15:00(雨天時は9月28日に順延) ▶場所=宇都宮市あけぼの公園(宇都宮市文化会館隣) ▶内容=外国民芸・物産展示販売、世界の料理試食、世界民族芸能、日本文化紹介他 ▶問い合わせ=TIA 028-621-0777

★Tochigi International Festival '97

The "Tochigi International Festival" will be held at the Akebono Park. We would like to welcome everybody to this festival.

Place: Akebono Park
(Akebono Koen in Japanese, near the Utsunomiya Bunka Kaikan)
Date: September 21 (Sunday) 1997
(If it rains, it will be postponed to the next Sunday, Sept. 28.)
Time: 10:00am ~3:00pm
Activities: Foreign Folk Art Exhibition, Foreign Crafts Shops, Taste of the World, Traditional Dance and Music of the World, Introduction of Japanese Traditional Culture, and etc...

For more information: Please call TIA at (028)621-0777.

★ FESTIVAL INTERNACIONAL DE TOCHIGI'97

O festival que une os estrangeiros e os japoneses está sendo programado da seguinte forma:

Data: 21 de Setembro de 1997 (domingo)
Em caso de chuva: 28 de Setembro
Horário: 10:00~15:00 horas
Local: Parque Akebono de Utsunomiya (ao lado de Utsunomiya-shi Bunka Kaikan)
Programa: Exposição e venda de artesanatos e produtos estrangeiros; comidas típicas;

apresentações folclórica de vários países e da cultura japonesa.

Informações: na T.I.A. 028-621-0777

★ FESTIVAL INTERNACIONAL DE TOCHIGI'97

El Festival Internacional en que los residentes extranjeros y japoneses podrán divertirse juntos tendrá lugar en el Parque Akebono.
Día: 21 de Septiembre, 1997 (domingo)

En caso de lluvia: 28 de Septiembre

Hora: 10:00 ~ 15:00

Lugar: Parque Akebono de Utsunomiya (al lado de Utsunomiya-shi Bunka Kaikan)
Programa: Exposición y venta de obras de arte popular y productos extranjeros, comidas y arte folklórico de varios países y presentación de cultura japonesa, etc.
Infórmense en: la T.I.A. 028-621-0777

جشنواره بین المللی توچی گی ۱۹۹۷

تاریخ: یکشنبه ۲۱ / ۹ / ۱۹۹۷ در صورت بارانی یومن همواری به ۲۸ / ۹ / ۱۹۹۷ تغییر میکند.
 محل: اتسونومی یا-شی پارک آکه‌بونو.
 ساعت: از ساعت ۱۰ صبح تا ۳ بعدازظهر
 برنامه: نمایشگاه هنر و کالا (کالاهانگرهون مردم) آذایش خودکارهای کشورهای خارجی، موسیقی و رقص، معرفی کردن فرهنگ‌تران.
 اطلاعات شتری لازم داشته باشد
 میتوانند از تلفن مشاهerde ۰۲۸-۶۲۱-۰۷۷۷-۲۸۳۵ متفاهم
 نمایند.

★'97 栃木国际节

外国人和县民的庆祝活动聚会 “'97 栃木国际节” 在下列日期举行。

日期：1997年9月21日星期日 10:00 ~

15:00
(雨天时, 活动延期至9月28日)
地点：宇都宫市明保野公园（邻接宇都宫市文化会馆）
内容：展售外国民间工艺品、土产、品尝世界美食、世界民族技艺、日本文化介绍等等。
联络地址：TIA (栃木县国际交流协会)
电话：(028) 621-0777

★1997年度日本語教育能力検定試験の実施

日本語教員となるために学習している人や、日本語教員として教育に携わっている人等を対象として、その知識や能力が日本語教育の専門家として必要とされる水準に達しているかどうかを審査する「日本語教育能力検定試験」が次のとおり実施される。▶受験資格=1997年4月1日における年齢が満20歳以上であること
▶試験日=1998年1月25日(日) ▶試験時間=筆記試験Ⅰ…140分、筆記試験Ⅱ…100分、聴解試験…30分 ▶試験会場=関東地区…青山学院大学青山キャンパス
▶申込方法=1997年9月24日から全国主要書店で販売される受験案内(出願書類付き)を参照。受験料は7,500円。▶受付期間=1997年10月13日～10月31日まで
▶問い合わせ=(財)日本国際教育協会 03-5454-5579・03-5454-5215

TIA 賛助会員募集中！

賛助会員になりますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ(海外→日本、日本→海外)をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使われており、地域の国際化のために役立っています。

